



浜松観光ボランティアガイドの会

加藤先生講演会「石垣」特徴と見方



熱心にお話される加藤先生

6月18日(火)、地域交流センターにおいて、研修部主催の座学研修会が、講師に加藤理文先生をお迎えし「『石垣』特徴と見方」というタイトルで開催されました。

私にとって浜松観光ボランティアガイドの会に入会してから、初めての専門家による座学研修会です。最初に基本的な知識を入れておこうと思いましたが、余分な知識はインプットの邪魔になるだろうと素のままで受講しました。

レジュメを配布されましたが、先に読む事はやめて、聴講に集中しました。しかし、先に読んでおいた方がよかったなど途中で反省。なぜなら、先に見ておけば、メモをすべきかどうかレジュメに記載なきものをピックアップしてメモを取ることで聴くことに集中できたと思ったからです。事前に資料を読むことで効率よく聴講できたのだろうと思いました。

加藤先生の講義はとても分かりやすく丁寧な語り口だったので、すんなり頭の中に入ってきました。ただ私の劣化した頭では処理が追い付かなかったけれど。前半メモ取りに集中し、休憩時間にレ

ジュメを追いかけて、後半もメモ取りに集中して終了後レジュメを追いかけました。

こんなに一生懸命「聞き漏らさないぞ」と集中して聴講した講義は何十年ぶりだろう。劣化した頭では、メモを見直してレポートを書くのも大変でした。

さて、石垣はどのようにみればいいのか。重要なのは、年代を当てることでもなく、だれが建造したのかを当てることでもなく、石垣の美しさを堪能する方法と捉えました。石垣を巡る武将と石工のプライドが石垣の機能性を上げ、意匠性も上げていったという点が腑に落ちました。

しかも驚くのは約四百年もの長い間、石垣が崩れずに現存していることです。(一部積み替えられた石垣もあるようですが) そんな日本人の職人魂に感銘を受けました。

最後にこのような素晴らしい座学研修会を企画していただいた研修部の皆さんに感謝します。ありがとうございました。

南ブロック 川原千明



相槌を打ちながら聴く会員たち

県民の日記念【ふるさと講座】 募集開始のお知らせ！

浜松観光ボランティアガイドの会

県民の日記念【ふるさと講座】

もっと知ろう はままつ！

ボランティアガイドと共に学ぼう

『浜松城公園今昔』振り返る昭和！

覚えてる!! 知ってた?!

浜松城公園に動物園がありました！

こんな時代(1950/昭和25年)⇒

⇒市営プール⇒動物園⇒図書館⇒テニスコート⇒市役所⇒浜松城天守閣再建⇒
体育館⇒美術館⇒弓道場⇒文芸館⇒松園亭⇒天守門復元⇒

日時 8月31日(土)
9:30~11:45

参加費無料

注意事項 ※感染症対策、暑さ対策、等各自の責任をお願いします。

会場 南部協働センター (中央区海老塚二丁目)

定員 40名 ※事前申込み要(定員を超えた場合は抽選)

申込期限 ~8/23日(金) ※必着

申込み方法 下記 <1>往復はがき <2>インターネット

<1>往復はがき 郵送の場合

宛先 〒432-8014 浜松市中区鹿谷町25-10 厚ヶ嶺資料館 気付

<2>インターネットの場合 浜松観光ボランティアガイドの会 行

(1)Web <https://forms.gle/GADyVxnQLPWPQqB6>

(2)右のQRコード(参加申込みフォーム)から直接申込ができます。

<1><2>共通項目

ふるさと講座(2024)・〒・住所・氏名・電話番号・メールアドレス・この行事をどのように知りましたか

※8月26日(月)までに抽選の結果を連絡します。

問い合わせ先

TEL 053-456-1303

メール mail@hama-svg.jp

主催 浜松観光ボランティアガイドの会

hp <http://www.hama-svg.jp>

HP ▶ はままつ案内人

共催 静岡県・浜松市



参加申込みフォーム



はままつ案内人

景観賞受賞！「松韻亭」新人研修



松韻亭正門

くということでワンピースや着物姿で参加する人もいました。午前10時浜松城公園駐車場前のせせらぎの池を出発、浜松城ボランティアガイド時に茶室の場所を聞かれることが時々あるので、茶色の看板を確認しながら児童プール横の坂道を下り、松韻亭正門をくぐりました。

立礼茶席に入ると、松韻亭の平野さんがお茶の楽しみ方から数寄屋造りの建物・庭園についても丁寧に説明してくださいました。昨年初めて入場者が一万人を超えたとのこと、大河ドラマ館の影響もあり、全国から観光客が多く来てくれたようです。「お茶会だけでなく伝統文化を体験できるイベントも行っているのも、もっと市民の方に知っていただきたいと思います」と話



季節の和菓子

していました。令和5年度には、第16回静岡県景観賞優秀賞(日本造園建設協会静岡県支部賞)を受賞されたそうです。

老舗和菓子店花鼓の「紫陽花」と名付けられた練り切りと抹茶をいただいた後、庭園を散策しました。「車は60分無料追加を受けることもできるので、なるべく浜松城公園駐車場に止めていただきたいが、歩行困難なお客様のために駐車場もありますから気軽に連絡してください」とのことでした。そこで広間横を歩きながら駐車場と裏門も確認しました。

参加者はおいしいお菓子とお茶、美しい庭にすっかり豊かな気持ちになり、パンフレットを頂いて帰りました。

広報部 高羽百代(北ブロック)



少し緊張してお茶をいただく



説明を聞きながら庭園散策

会員の交流広場

版画工房「光山房」を訪ねて



次郎法師直虎と虎松

皆さん、NHK大河ドラマ『おんな城主直虎』はご存じですね？その井伊直虎公を有名にした立役者である、版画家で小説家の谷光洋先生こと熊谷光夫さんに、6月初旬お話を伺ってきました。

熊谷さんは直虎公を発見したご本人である方ですが、発見時のエピソードやなぜ直虎に興味を持ったのかをお話ししていただきました。元々井伊谷三人衆に興味があり、調べられていたそうです。そして、たまたまお墓を調べていたタイミングで、女性のお墓が位の高い位置にあることに興味を覚え、調べた結果、そのお墓が直虎公(次郎法師)であったとのことでした。

その功績を調べるうちに、こんな人がいたんだと感銘を受け、作品にされたとのことでした。

今では浜松では当たり前になった直虎公ですが、版画でその名を広めた熊谷さんのお話はとても楽しかったです。

毎年直虎公の命日8月26日には、菩提寺である井伊谷の龍潭寺にて供養があり、私も毎年参加させていただいております。このようなご縁をいただいているのも、何かの神仏？のお力添えがあったのだと思うと感慨深いです。改めてガイド活動の重要さと、地域に生かされている大切さを実感した日となりました。

今年も8月26日(月)に供養祭が開催予定(10時～)ですので、ご都合つく方はぜひご参加ください。問い合わせは私までお願いします。

「光山房版画」で検索すると熊谷光夫さんのホームページで様々な作品を見ることができます。

北ブロック 原田隆史



熊谷先生と筆者

西ブロックミニ研修 和地山、住吉史跡巡り

5月21日(火)、西ブロック月例会を和地山公園集會場で実施後、和地山公園、静岡大学浜松キャンパス周辺・奥山線・旧住吉浄水場周辺などを巡るミニ研修を24名の参加で行いました。

和地山公園は戦前の陸軍練兵場を整備して



高射砲第一連隊門

ながら風が通っていき、私も子供会の一員として会場に行きました。

公園の西には市営バスの車庫跡があります。1986(昭和61)年に民間に委託され、事業廃止になるまで市民の足として親しまれました。公園の南の静岡大学の敷地は戦前、歩兵第67連隊や高射砲第1連隊など陸軍の駐屯地として使用されてきました。現在では弾薬庫外側の高くなった土塁、北門、赤レンガ門などが残っているだけです。

静岡大学から東に歩くと奥山線跡があります。

1969(昭和44)年に公園となりました。大正初期から1966(昭和41)年までは、浜松まつりの凧揚げ会場として使用されてきました。凧揚げ

当日、家の前を練り

奥山線は浜松と金指を結ぶ軽便鉄道として開業し、気賀、奥山まで延長しましたが1964(昭和39)年廃線。現在線路跡は遊歩道に整備され、歴史や車

両、旧駅の位置を表す案内板などが設置されています。当時自宅の近くの池川駅から乗車して松菱などに出かけ、廃線後は友達と線路跡を歩いて元城の市営プールに行ったことも良い思い出です。

旧住吉浄水場は1931(昭和6)年から1973(昭和48)年まで市民に安全・安心な水を届けていました。現在は上下水道部住吉庁舎となっていますが、貴重な水道施設は当時のままです。2012(平成24)年に「旧住吉浄水場の施設群」として7件が国登録有形文化財に指定されました。また、旧住吉浄水場は桜の名所として有名でしたが、2020(令和2)年4月以降は開放しないことになりました。現在、事前申し込み(学校等の授業、研修目的)すれば施設を見学できます。

広報部 山田利夫(西ブロック)



旧住吉浄水場正門

新入会員の入会動機



一昨年の「広報はままつ」にてボランティアガイドの募集があることは知っていましたが、自分がやってみようという一歩が出ずにいました。ですが、昨年の広報に乗った募集の記事を見て、今度こそは自分の成長のためにと申し込みをした次第です。

以前より神社仏閣に参ることや城跡に行くことは好きでしたが、余り深く考えずに訪れていたもので、知らないことが多くて大変ですが、これから少しずつ勉強していきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

中ブロック 中村香苗



私は、昨年から今年ドラマ館終了するまで「どうする家康」で活動させて頂きました。ドラマ館には、ふと目にした募集に一度位はボランティアとして、ひとさまのお役に立てたらという思いからでした。はじめてのことで心配しながらの参加でした。ところが私は浜松の事をはじめ家康、歴史、文化等、知らない事、間違っていた事など多くあり過ぎました。

皆様から、いろいろ教えて頂きながら、勉強させて頂きお世話をおかけしましたが、とても楽しい活動でした。同時に興味がどんどん増し、もっと知りたい、解りたいと思うようになりました。いつも面倒がらずに教えて下さった方々の多くは、「浜松観光ボランティアガイドの会」に所属されていると解りました。

また、私のつたないご案内でも「ありがとう」とおっしゃって下さるお客様もあり、人との出会い、交流も楽しく思いました。このまま終わるのも残念に思えた頃、会のお誘いを頂き、不安と心配でいっぱいでしたが、決心して入会させて頂きました。

西ブロック 水野久美子

新入会員の入会動機



私は学生時代にアメリカに行った際、浜松のことを何も説明できず強いショックを受けました。そんな中、現地の学生が私よりも浜松について詳しく知っていたことに衝撃を受け、自分の不甲斐なきを猛省しました。そこで最近、飲食店での仕事をしつつ、浜松の魅力をお伝えしたいと思い、飲食店の情報を中心に Web ライターの仕事をしてきました。昨年、大河ドラマ館でボランティアをした時には、ガイドの先輩に「家康の散歩道」を案内していただき、歴史を学び、観光についても案内していきたいと思い、浜松観光ボランティアガイドの会への入会を決意しました。私は人と人との交流が大好きです。これからは、浜松を訪れた方と心を通わせる観光ガイドをしていきたいと思えます。目指すは浜松が世界の人気観光都市ランキング No. 1 になること！世界中のみなさんに、浜松の魅力をお伝えしたいと思えます。よろしく願いいたします。

西ブロック 松島知江子



お城や城跡、城下町や旧街道・宿場などを巡って、当時に思いを馳せる（妄想する）のが大好きで、御城印を集めつつ、ご当地の美味しいものを食べて帰ってくる旅を楽しんでおりました。昨年は「どうする家康浜松大河ドラマ館」の運営ボランティアを経験し、県外の方にご説明やご案内をする中で、浜松の魅力にあらためて気付かされ、浜松が大好きになり、とても勉強になった1年でした。

これで終わりにするのはもったいない！と思い、自分自身もっと浜松を知って、浜松のファンを日本中に増やしたいという気持ちから今回入会させていただきました。学びはのんびり型かもしれませんが、楽しく長く活動したいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

西ブロック 兼田涼香

6月のガイド活動 《明く楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。またこの3カ所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター（浜松駅構内）」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《ふるさと講座》		18日 火	浜松市立和地小学校	114名	
11日 火	浜松市立西小学校	78名	25日 火	磐田市立長野小学校	43名
25日 火	浜松市立県居小学校	50名	《浜松まつり会館》		
《同行ガイド》		1日 土	湯浅糸道工業(株)	20名	
21日 金	浜松市立砂丘小学校	18名	4日 火	浜松市立広沢小学校	128名
26日 水	浜松市立東小学校	63名	かがやきクラブ大垣指導者		127名
《浜松城》		《犀ヶ崖資料館》			
2日 日	小牧市管工事業協同組合	21名	4日 火	浜松市立飯田小学校	102名
6日 木	浜松市立葵西小学校	77名	21日 金	浜松市立砂丘小学校	17名
7日 金	可児ロータリークラブ	30名	23日 日	ボーイスカウト浜松 24 団カブ隊	12名
	富士フィルム富士宮工場構協連	12名	25日 火	浜松市立初生小学校	128名
16日 日	茨木食糧事業協同組合	21名	浜松市立江西中学校		20名
18日 火	浜松市立和田小学校	99名	28日 金	浜松市立県居小学校	50名

はままつ案内人会報 264号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会
 〒430-0946 浜松市中央区元城町 100-2 (浜松城内)
 TEL 053-456-1303
 メールアドレス mail@hama-svg.jp
 ホームページ http://www.hama-svg.jp/

はままつ案内人

検索



家康公ゆかりの地